



2010年11月14日

【先々週のメッセージより】 第一サム18~20章 助けてくださる神 ダビデとヨナタン



●ダビデとヨナタンの深い友情関係は神様を含めた三角関係であったということを知りたい。二人の間にあったのは、依存関係や利害関係ではなく、神への愛と神の榮譽のために献身であり、同じ方向を向いている同志としての深い信頼関係と友情こそ、この関係を際立たせている。

●私たちにも生涯付き合えるヨナタンのような友人が与えられたなら幸いであるが、まずは、自分が誰かのためにそのような友人になれるよう、自分を磨きたい。そのためにできる最も大切なことは、自分と神との関係を深めていくことであることを覚えよう。

【先週のメッセージより】 第二サムエル7章、第一歴代22章、29章

全き心をもって進んで主にささげよう ダビデとソロモン

●ダビデは息子ソロモンに対して、1) 神に対する信仰、2) 神殿建設の使命を熱心に継承しようとしてしました。この信仰継承と神殿建設は連動している事柄である。ダビデは、王の最も大切な務めが、a) 神礼拝を国家のもっとも重要な事柄として位置づけ、b) 権力や欲ではなく、神の御心を求めることに人々の思いを向け、c) 人や敵国を恐れるのではなく、世界をもすべて滅ぼすことのできる神を恐れるべきであることを人民に知らせることであることを理解していた。国家が長続きするためにはこれが最も大切なことだったのである。

●私たちもまたこの信仰継承の模範に習いたい。子供のために、教育始め、スポーツ、様々な体験や経験を備えて上げることは勿論大切であるが、親が子供に残すことができる最も大切なものは神に対する信仰である、ということをしっかり心に刻みたい。



マルコ8:36 人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありません。 (主イエスの言葉)

【今週の暗唱聖句】 ヤコブ1：5

「あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。」

●これは素晴らしい約束である。私たちはどういう時に、本当に知恵を必要とするだろうか。それは、自分では処理不能と思える困難や試練に会っている時である。この節の前の2～4節はまさに試練に会っている人々に対して5節が書かれていることを分らせてくれる。

●更にこの節のあと、6-7節にはこの約束が実現するために、大切な条件がつけ加えられていることを覚えたい。「ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。そういう人は、主から何かをいただけたらと思っただけでありません。」困難に会っている時には全き信頼をもって主に願おう。■

【十字架を見上げて】

●父なる神よ。

●御子イエスの十字架を通して計り知れない愛を私に示してください。ありがとうございます。このような私に無限の価値を見出して下さっていることを恐れと感謝を持って受け入れます。私は御一人子、主イエスを自分の主として歩むことをもう一度、今朝決意します。主イエスを通してあなたに祈りつつ、みことばを思い巡らし、行動して参ります。僕としてご訓練ください。

●主よ、私は自分の十字架を背負って主イエスについて参ります。今日も自我との戦いがありますが御霊の助けをくださり、私を勝利へと導き、私の性質を変えてくださいますようお願いいたします。

私の内なる人を強くし、主イエスに似た者としてください。主イエスを自身を私の内に形づくり、愛の人に造り変えてください。

●主よ、御子イエスの十字架はあなたの御心であり、あなたが御子に与えられた使命でした。主イエスはその十字架を喜んでしのばれました。その結果がさらなる喜びと栄光とに満ちたものであることを知っておられたからです。主よ、あなたは私のためにも果たすべき使命、しのぶべき十字架を与えてくださっています。私に対する御心を果たさせてください。そして御前に携え上られる日に喜んでいただけるしもべとして、願わくは、迎え入れられますように。■

